

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

埼玉県 滑川町

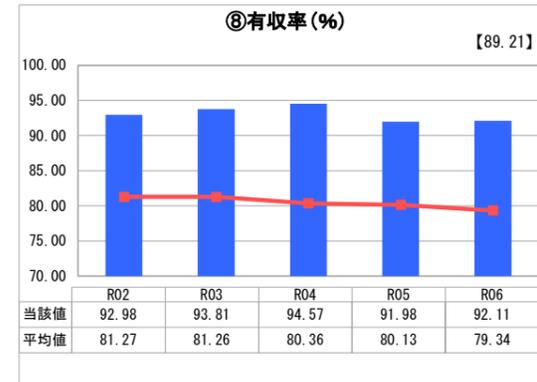
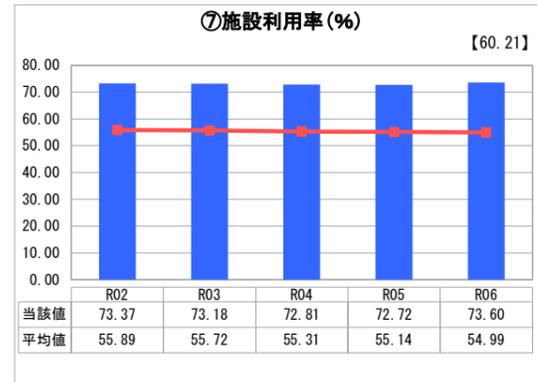
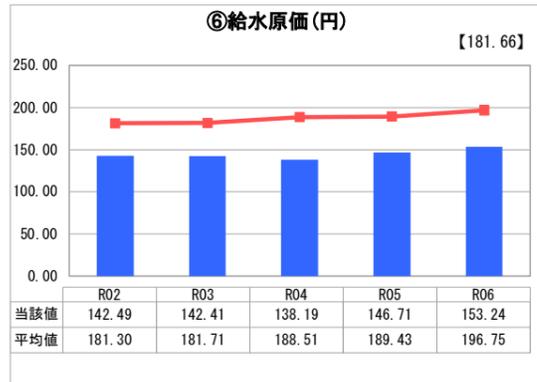
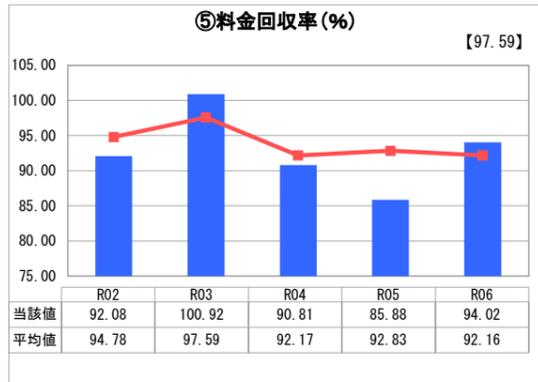
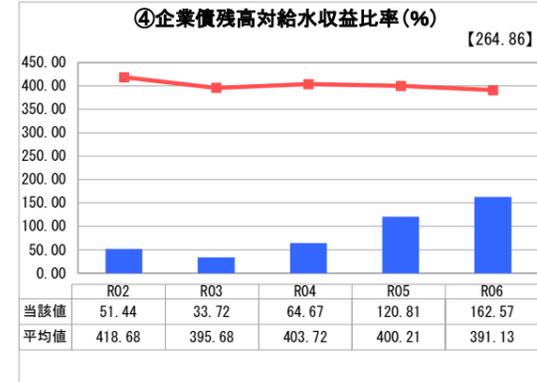
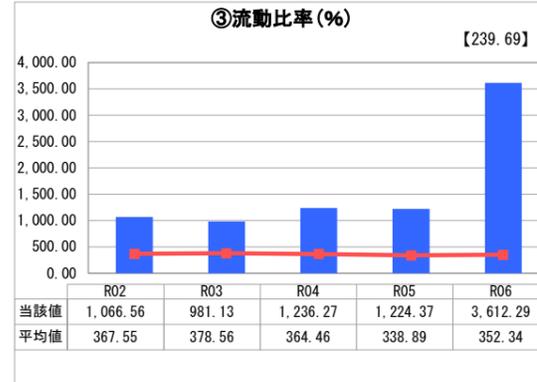
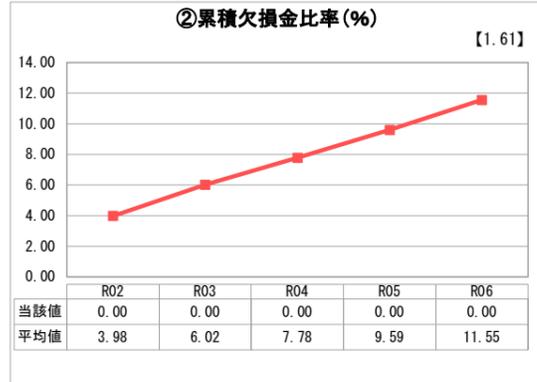
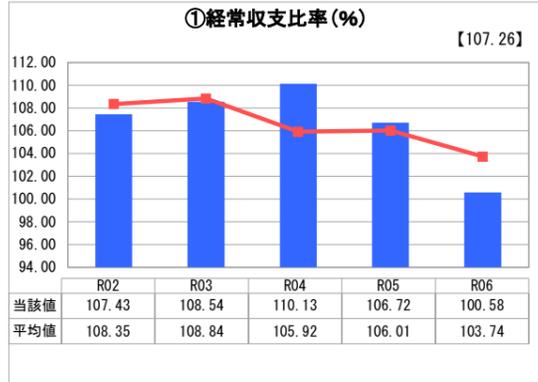
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	85.58	99.85	2,310	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
19,757	29.68	665.67
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
19,722	29.35	671.96

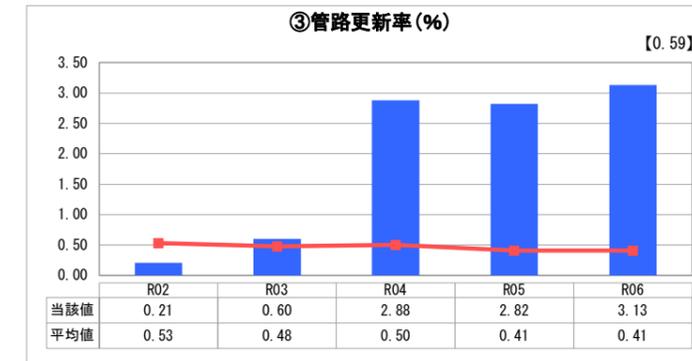
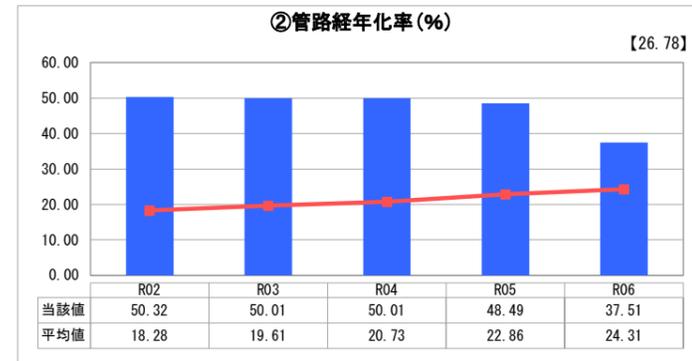
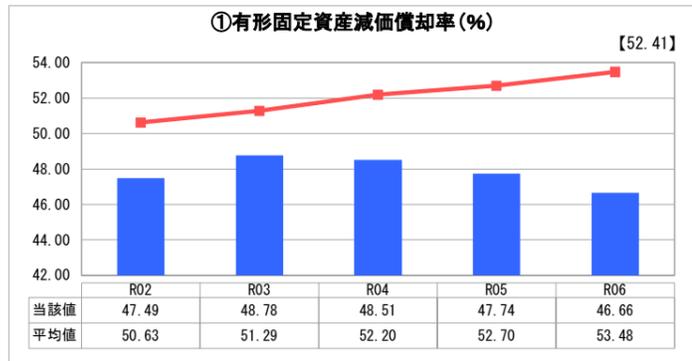
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率  
前年度から6.14ポイント減少し、全国平均及び類似団体平均値を下回った。これは令和4年度より地方債借入れを再開し、令和5年度より地方債償還金が増大したことが影響している。また、黒字経営を示す100%以上の数値を出しているが、今後も収支の推移に注意し健全な経営を目指す。

② 累積欠損金比率  
本年度も0%を維持している。営業収益に対し、複数年にわたる損失はないことを示している。

③ 流動比率  
前年度より2387.92ポイント増加しており、全国平均値及び類似団体平均値も大きく上回っている。要因として流動負債の大幅な減少、貯蔵品など流動資産の増加が挙げられる。1年以内に支払うべき債務に対して支払い可能な現金等があり、短期的な債務に対する支払能力を有していることを示している。

④ 企業債残高対給水収益比率  
前年度より41.76ポイント増加しているものの、全国平均値及び類似団体平均値を下回っている。令和4年度より継続的に企業債借入れを実施している為、増加の傾向である。

⑤ 料金回収率  
前年度より8.14ポイント増加している。給水に係る費用が給水収益以外の収入で賄われている部分がある。財源については現状の収入で確保されているが、本来は給水収益による財源が適切であることから、今後、経費について精査を行い、100%以上の回収率を目指す。

⑥ 給水原価  
給水1m<sup>3</sup>あたりの経費。前年度より6.53ポイントの増加となるが、全国平均値及び類似団体平均値を下回っている。安い原価で給水ができていないことを示している。

⑦ 施設利用率  
前年度より0.88ポイント増加しており、全国平均値及び類似団体平均値を上回っている。施設利用状況や規模が良好であることを示している。

⑧ 有収率  
前年度より0.13ポイント増加し、全国平均値及び類似団体平均値を上回り、高い数値を維持している。施設の稼働状況が収益に反映されていることを示している。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率  
有形固定資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標。前年度より1.08ポイントの減少となっており、令和4年度より実施されている配水管老朽化更新事業の影響が表れている。一方で全国平均値及び類似団体平均値を下回っているものの、50%に近い数字である為、今後も事業を継続していく。

② 管路経年化率  
法定耐用年数を超えた管路延長の割合を示す指標。前年度より10.98ポイントの減少となっているが、例年、全国平均値及び類似団体平均値を大きく上回っており、管路の更新への対応が必要である。

③ 管路更新率  
該年度に更新した管路延長の割合を示す指標。前年度に比べ0.31ポイント増加している。令和4年度より「重要給水施設配水管路耐震化及び老朽管更新事業計画」に基づいた更新工事を実施しており、全国平均値及び類似団体平均値を上回っている。今後も事業は継続される為、老朽管更新率は横ばいで継続となる見込みである。

### 全体総括

令和6年度の経営の健全性・効率性については、前年度と比較して改善された点も増え、おおむね適正であると判断されるものの、料金回収率の向上や施設等の老朽化は依然として重要な課題点であり、今後の更新工事や未収金の解消等に取り組む必要があります。

平成30年度に策定した経営戦略及びアセットマネジメント(資産管理)、令和元年度に策定した水道事業ビジョン及び令和5年度に策定した経営戦略改定版に基づき、基本理念である「未来をつなぐ 暮らしを守る 安心・安全な滑川の水道」を目標に、住民の皆様が安心して水道を利用できるよう、より一層の経営基盤の強化を図ってまいります。